

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月22日

事業所名 ふるさとの森ひろば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・2グループに分かれて活動したり、長期休みは屋外での活動を多く取り入れている。	・児童発達支援事業所も併設しているので長期休み等は自由に使用できる居室が限られている。その中で安全に動きやすく活動できるような環境設定を努めたい。
	2	職員の配置数は適切である		○	・多機能型事業所の特性を活用して児童発達支援の職員に適宜手伝ってもらっている。	・年々多くの支援が必要な児童の利用が増えている。安心安全な支援の提供と専門性のある職員の確保に努めたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・バリアフリー化や危険箇所等の改善が必要な箇所を見極めて必要に応じて対処したい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・法人全体で取り組んでいる。	・引き続き取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・いただいた意見を事業所運営と支援の改善に反映させたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・結果を事業所の運営と支援に反映させたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・結果を事業所の運営と支援に反映させたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月に1回外部からの支援指導を受けている。	・今後は事業所内研修や勉強会を開催し支援力の向上に努めたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者、学校、相談員から得た情報を基に作成している。	・お子様、保護者の思いをスモールステップで実現できるような計画の作成に努めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・外部支援者からの助言を参考にしながら行動分析シートを活用している。	・今使用している行動分析シートを有効に活用したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・担当制で行っている。	・引き続き活動内容の振り返りや再構築等を行い、より良い支援を常に提供できるように努めたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・同じ活動であっても変化や工夫を取り入れるようにしている。	・引き続き活動内容の振り返りや再構築等を行い、より良い支援を常に提供できるように努めたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・休日や長期休暇はじっくりと向き合って支援するよう心掛けている。	・今年は公共施設や社会資源を利用する機会が増えてきた。今後も社会体験を積んで成長を促していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・アセスメントを的確に行い、実態や個々のニーズに沿った計画作成に努めたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・受け入れ前に全職員でミーティングしている。	・受け入れ前に前日の振り返りと当日の受け入れの確認をしている。今後も入念なミーティングを行い、全職員共有理解のもとで支援を行うように努めたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・特記事項はその日のうちに情報共有している。	・送迎の関係でその日のうちに振り返りをするのは難しいが、特記事項は情報共有・検証、保護者への再度説明等を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の支援内容を個人別に記録している。	・引き続き必要な情報を的確に記録して支援にいかしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・今後も必要に応じて定期的に行っていくよう努めたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			・ガイドラインを熟読してガイドラインに沿った支援に努めたい。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が出席している。	・必要に応じて参加する者を検討していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校より年間計画をいただき、変更がある時はその都度電話連絡等ももらっている。	・引き続き、必要に応じて情報交換・共有をしたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・該当しないが、緊急時等は可能な限り情報提供や受け入れ等も検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・移行支援シートをいただいたり、同法人児童事業所とは利用前に関わりを持たせてもらっている。	・引き続き必要に応じて情報共有等していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	・相談員には引継ぎ等を行っている。	・必要に応じて取り組んでいく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・事業所連絡会等で情報共有等を行っている。	・夏休みに研修があったが、主催側の都合で中止となった。参加できるときは参加して支援力の向上に努めたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・同法人の普通学校対象の放課後等デイサービス事業所との交流はある。	・行事等に参加してもらい、その中で交流を図ることから取り組んでいく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・同法人の代表が参加している。	・参加した者から報告を受けているが、可能な限り参加して情報収集・交換・共有に努めたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回の連絡帳や送迎時に情報交換・共有をしている。	・引き続き保護者の思いに寄り添い一緒に成長を見守っていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		・研修に参加して実践したい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に行っている。	・わかりやすく情報提供できるように心掛けたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談を受けた時は連絡帳や電話、送迎時等を利用して返答している。	・悩み解決となるような助言や支援ができるよう、研修や勉強会を開催して支援力の向上に努めたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・法人全体の保護者連絡会に参加を呼び掛けている。	・事業所単独の保護者会等を計画し保護者同士の交流を図る。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・意見をいただいた時は迅速に対応するよう心掛けている。	・今後も真摯に受け止めて対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月に1回の事業所便りと年4回の法人便りを発行している。	・便りの他に今年度はInstagramも開設した。今後も必要な情報が提供できるようにする。
	35	個人情報に十分注意している	○			・今年度からInstagramを開始した。利用される方や家族が望んでいない情報開示にならないよう今後も十分配慮したい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・わかりやすい言葉等で伝えるよう今後も配慮したい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・法人行事に招いている。	・今後も開かれた事業所を目指して地域との関わりを図っていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・マニュアルを熟知して周知徹底に努めたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・年に4回の事業所内災害訓練と年に1回の消防署立会訓練を実施している。	・今後も訓練を行うことで非常時に備えたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・事例をもとに検証している。	・今後も虐待に繋がらない支援に努めたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・該当者なし	・身体拘束をする必要のなる児童が出た場合はまずはする必要があるか慎重に見極めて保護者に丁寧に説明し承諾を得て、計画書に記載したうえで行うようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・契約時にアレルギー有無を確認している。	・食事の提供はないがおやつは提供しているので随時保護者から情報を収集して対処していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・ヒヤリハットが出たらその都度検討・再発防止の話し合いをしている。	・引き続き大きな怪我や事故に繋がらないようにヒヤリハットを活用したい。